

こまき市民文化財団情報誌

みんなで育てよう、こまきの文化

こまぶん

Autumn/Winter

秋冬

2018.11



秋冬の、
お出かけの計画を
立てよう。

特集

インタビュー

春風亭一之輔 × 三笑亭夢丸

中部フィルハーモニー交響楽団 小牧特別演奏会

こまき「第九」コンサート

サウンドアートパフォーマンス

はだかの耳をとりもどそう。

プラネタリウム特集

インタビュー

春風亭一之輔×三笑亭夢丸

落語って、愛とセンス。

春風亭一之輔

1978年、千葉県野田市生まれ。2001年、日本大学芸術学部卒業後、春風亭一朝に入門。2012年、異例の21人抜きで真打昇進。年間900席を超える高座はもちろん、雑誌連載やラジオのパーソナリティーなどさまざまなジャンルで活躍中。

三笑亭夢丸

1983年、新潟県新発田市生まれ。2002年1月、三笑亭夢丸に入門。2015年5月に真打昇進、「二代目三笑亭夢丸」襲名。2017年には、「平成28年度花形演芸大賞」銀賞を受賞。趣味は銭湯めぐり。

聞き手・こまき市民文化財団
舞台芸術コーディネーター
佐藤美子

来年3月 東部市民センターで
落語の二人会をやっていたたく
2人の師匠に話をうかがいました。

東京以外でこのふたりの
二人会は初!!

——今回、一之輔師匠に「小牧で二人会やってください」ってお願いした時に、「じゃあ夢丸師匠と……」って言っていただいて。その理由を教えてくださいなだけばと。

一之輔 夢丸さんに金借りてるんです。25000円。うそですけど。

夢丸 僕、兄さんにお金貸したことないし（笑）。

一之輔 まあでもほとんど同期みたいなもんですからね。

——二人会って、相性があると思うんです。化学変化が起きたなという会もあれば、これ独演会と変わらないじゃん！みたいな……。

一之輔 ああ、ぶつ切りみたいなね。たまたまお仕事で一緒になる二人会と、じゃあやりましょうかって言ってる二人会とでは楽屋の雰囲気全然違いますよ。絶対この二人楽屋で口きいてねえだろ！っていう雰囲気は、高座のお客さんの前にも出ると思いますし。

夢丸 そういう二人会、あるんですかね？

一之輔 あるでしょ。それこそ楽屋別々だったりすることありますもんね。でも、それってすごく寂しい。僕なんか、高座よりも楽屋のほうがしゃべってますから。

夢丸 毎回言ってるんですかそれ(笑)。

一之輔 うん。夢丸さんとはね、「面白いと思うところがおんなじ」なんです。雑談がいつまでも続くんです。楽屋では、テレビの話とか、お笑いの話とか：ほんとうに適当にしゃべるんですよ。夢丸さんはそんな僕の話をちゃんと拾ってくれて、笑ってくれて、いい気持ちでしゃべらせてくれる。(笑)

夢丸 ただの太鼓持ちじゃないですか(笑)

一之輔 そんなよいしよするわけじゃないよ。一緒にこう、ちゃんとトークが噛み合っ

て時間を感じないというか。それはまあ、気が合う証拠なのかな、という気がします。夢丸 だから、楽屋でしゃべりすぎて疲れちゃうんですね。

子どもは素直。

面白かったら笑うし、面白くなかったら笑わない

——財団では今、小学校に落語をお届けするアウトリーチという取り組みをしています。師匠たちは子どもたちの前で落語をやったことはありますか？

一之輔 ありますね。地方もいきますよ。小学校とか、中学校とか。子どもって、よく笑ってくれるんですよ。

夢丸 はつきりしてますよね。面白けりや笑うし、面白くなけりや笑わないし。いい意味で素直なんです。だから、大人だと落語を見た時に「夢丸は面白くないな、違う、落家にチャレンジしてみよう」ってなるけど、子どもさんと「落語って面白くない

な、つまらないな」ってなって、二度と落語を聴いてくれない可能性があるんですよ。

一之輔 うん。だから結構、丁寧にするように心がけてる。こっちがちゃんと取り組めば、子どももちゃんと振り向いてくれますし。

——話し方は変わりますか？

夢丸 体力は普段の1.5倍使います(笑)。

一之輔 若干、気を持ってね。小学校低学年の子だと、集中できない子とかもいるから、みんなこっち向かせるぞって思いながら、取り掛かる。逆に中学生・高校生に向けて分かりやすく話しちゃうと、変に子ども扱いしたみたいになるから気を付けないといけないんだけど。

落家に必要なのは
愛嬌とセンスと雑さ？

——せっかくなので、お互いの落語について語ってもらおうかと思うんですけど…。

夢丸 あんまりそんなの語ったことないですね。

一之輔 うんうん。落家って芸談しないよね。

夢丸 しないしない。兄さんの落語ですか？しゃべりづらいな(笑)。落語のセンスとかもそうなんですけど、愛なんですよ。会話のセンスとかね。こゝまでは踏み込むけど、こゝから先はおかさないっていう絶妙な線引きが非常に素晴らしいんです。

一之輔 いや〜うれし。線引きね。昔から線引くのは得意なんです。ライオンカーとかもうまかったし。運動会の練習とかも片手で円が描けるくらい。

夢丸 す〜いんだけどちがう！(笑)

——では逆に一之輔師匠からみて夢丸師匠の落語は？

一之輔 夢丸さんの落語はね…雑なんです。

夢丸 (笑)

一之輔 悪く言うと雑。よく言うと豪快。カワイイ剛腕です。だから、どんな辛辣なこと言ってもかわいらしさが残るといふかね。

——どこか憎めない。

一之輔 うん。でも、カワイイだから愛嬌、っていうのは落家のなか

で一番大事だと思いますね。それは天性のもので。でも、一番は落語が大好きなところかな。どんな落家でもみんな落語は好きなんだけど、そのなかでも夢丸さんは気持ち悪いくらい、落語が好きで。

夢丸 なんかけなされてるような気がする。(笑)。

一之輔 いやいや。それくらい落語が好きなんです。変質的なくらい(笑)。

夢丸 うれしいです。ありがとうございます。小牧でも雑な落語をお見せできたらと思います。

一之輔 どうかひとつ、おいでください。

——いつまでも聞いていたくなるような楽しいお二人の掛け合いです。



©キッチンミノル

2019.3.9(土)

駒来落語会

春風亭一之輔 三笑亭夢丸 二人会

場所／小牧市東部市民センター 講堂

時間／14:00 開演 (13:30 開場)

料金／一般 2,500円

U25(25歳以下) 1,000円

アートフレンド会員 一般 2,000円

U25(25歳以下) 800円

小牧公演への
意気込みを語って
いただきました！



年末の風物詩である「ベートーヴェン交響曲第9番ニ短調Op.125《合唱付き》」の演奏会が12月22日、小牧市市民会館ホールで開催されます。中部フィル主催としては初となる今回の特別公演では、山下一史指揮のもと、中部フィル、藤原歌劇団のソリスト、そして今回のために結成された「こまき第九特別合唱団」が一堂に会します。ここでは当日に向けて練習中の合唱団のみなさんに「第九」への意気込みをお話いただきました。

BEETHOVEN: SYMPHONY No.9

中部フィルハーモニー交響楽団
小牧特別演奏会
こまき「第九」コンサート

舟橋 あかりさん(ソプラノ)

舟橋さんは、合唱部に所属する高校2年生。2015年に小牧市制60周年記念の第九演奏会に参加した時はまだ中学生で、「大人のみなさんについていくだけで精一杯だった」とか。お父さんが新聞で見つけてくれたという今回の第九演奏会には、あの時の達成感をもう一度味わいたくて応募を決めたそうです。「今回も私は最年少ですが、年齢に関係なくみなさんと声を合わせて、悔いのないよう思いっきり歌いたいと思います」と意気込みを語ってくれました。



山内 秀雄さん(バス)

学生時代に合唱をやっていたという山内さん。昨年、モーツァルト「レクイエム」に参加する機会があり、40年ぶりに合唱熱が再燃。本格的に歌を再開したそうです。「再開した当初は出なかった「ミ」の音が、練習したら出るようになりました。今回の第九では「ファ」の音を出さなければいけないのですが、これも最近出るようになってきました」と楽しそうでした。今回は、同じく合唱をされている奥様とともに参加されています。



山下 一史(指揮)

1985年から1989年までヘルベルト・フォン・カラヤンのアシスタントを務め、以後国内外さまざまな楽団の指揮を歴任。2016年4月より千葉交響楽団音楽監督に就任している。東京藝術大学音楽学部指揮科招聘教授。桐朋学園大学卒業。

Conductor message

このたび「こまき第九」を指揮できますこと、大変光栄に思っております。今回は中部フィルハーモニー交響楽団として地元で初主催の第九と伺っており、日本最高クラスのソリストの皆さんと、20回のリハーサルを重ねてきた地元小牧を中心にした合唱団の皆様と共演できることを大変楽しみにしております。

The Fujiwara Opera



小川 里美(ソプラノ)

2009年、ヴェローナ・フィルハーモニック劇場「トゥーランドット」タイトルロールでイタリアデビュー。東京音楽大学卒業、同大学大学院修了。新国立劇場オペラ研修所6期生修了。



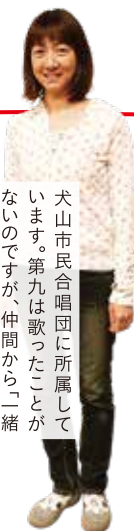
鳥木 弥生(メゾ・ソプラノ)

2002年、フィレンツェ歌劇場公演「ジャンニ・スキッキ」ツィータでオペラデビューを果たす。2015年度岩城宏之音楽賞受賞。武蔵野音楽大学卒業。

小牧の空に「第九」が

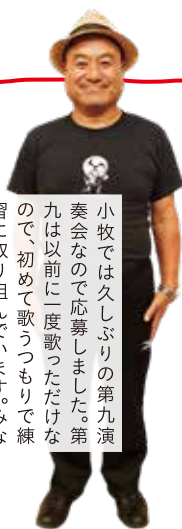


合唱指導
長谷 順二先生



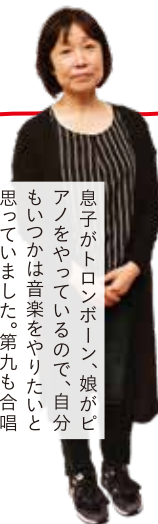
北川 亮子さん

犬山市民合唱団に所属しています。第九は歌ったことがないのですが、仲間から一緒に歌ってみよう！と誘われて参加することにしました。本番までしっかり暗譜するつもりです。



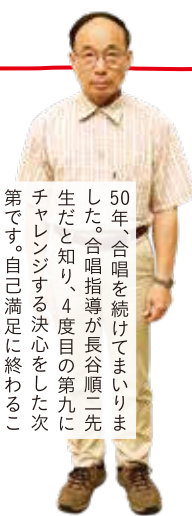
下村 勝さん

小牧では久しぶりの第九演奏会なので応募しました。第九は以前に一度歌ったただなので、初めて歌うつもりで練習に取り組んでいます。みなさん練習熱心で、ついていくのが大変です……。



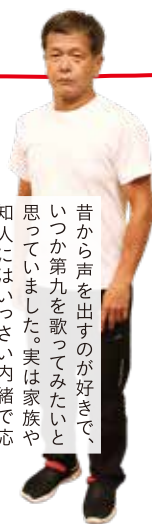
匂坂 磨美さん

息子がトロンボーン、娘がピアノをやっているの、自分もいつかは音楽をやりたいと思っていました。第九も合唱も今回が初めて。冷蔵庫に歌詞を貼って、ドイツ語の発音を練習しています。



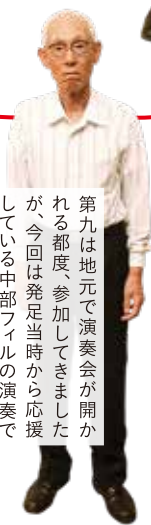
近藤 久行さん

50年、合唱を続けてまいりました。合唱指導が長谷順二先生だと知り、4度目の第九にチャレンジする決心をした次第です。自己満足に終わることなく、よい演奏にしたいと思っています。



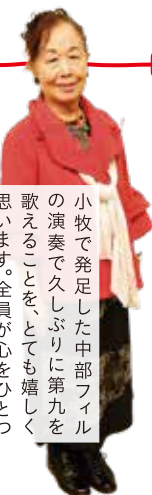
山田 秀明さん

昔から声を出すのが好きで、いつか第九を歌ってみたいと思っていました。実は家族や知人にはいっさい内緒で応募していて、当日にサプライズでチケットを渡すつもりです。うまくいかな。



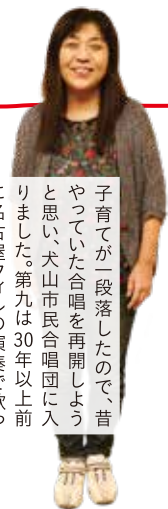
森 俊男さん

第九は地元で演奏会が開かれる都度、参加してきましたが、今回は発足当時から応援している中部フィルの演奏で歌えることを嬉しく思っております。ご期待に添う歌を披露したいと思っています。



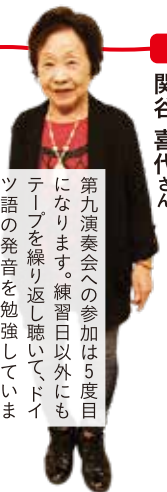
中井 千鶴子さん

小牧で発足した中部フィルの演奏で久しぶりに第九を歌えることを、とても嬉しく思います。全員が心をひとつにして、第九に込められた人類愛や世界平和への願いを伝えたいと思います。



田中 久美子さん

子育てが一段落したので、昔やっていた合唱を再開しようと思い、犬山市民合唱団に入りました。第九は30年以上前に名古屋フィルの演奏で歌って以来。久しぶりなのでドキドキしています。



関谷 喜代さん

第九演奏会への参加は5度目になります。練習日以外にもテープを繰り返し聴いてドイツ語の発音を勉強しています。いつか娘と孫の3世代で同じ演奏会のステージに立つことが夢です。



2018.12.22(土)

中部フィルハーモニー交響楽団 小牧特別演奏会
こまき「第九」コンサート

場所／小牧市市民会館ホール

時間／15:00 開演 (14:15 開場)

料金／プラチナ席 5,300円 S席 4,300円 A席 3,300円

B席 1,800円 学生席(当日指定) 1,000円

アートフレンド会員

プラチナ席 4,800円 S席 3,800円 A席 2,800円

B席 1,500円 学生席(当日指定) 800円



伊藤 貴之(バス)

愛知県芸術劇場公演「ラ・トラヴィアータ」のグランヴィルでオペラデビュー。2012年、愛知県芸術文化選奨文化新人賞受賞。名古屋芸術大学卒業、同大学院修了。



笛田 博昭(テノール)

2007年、藤原歌劇団「ラ・ボエーム」のロドルフォでデビュー。翌08年に愛知県芸術文化選奨文化新人賞を受賞する。名古屋芸術大学卒業、同大学院修了。



小牧のこと。

アートのこと、

立日のこと、

サウンドアーティスト・鈴木昭男さんに聞く、

世界で活躍する小牧出身の

はだかの耳を
とりもどそう。



小牧出身のサウンド

ダンサー・アーティスト・鈴木昭男さんが、

サウンドアーティストの宮北裕美さんと組み、

11月10日に小牧市公民館で行います。

その世界の先駆者として、

国内外から高い評価を得ている鈴木さん。

しかし小牧でのパフォーマンスは、

意外にも今回が初めて。

ここでは鈴木さんの歩みをたどりつつ、

50年以上の歳月を経て実現した

里帰り公演に向けての

思いなどを語っていただきました。

「サウンドアート」とは、音を使った芸術の総称。その言葉だけを聞くと、どこか難解で前衛的なものを想像してしまいがちですが、鈴木さんの創造する音の多くはどこにもある日用品や道端に転がっている石ころ、木の枝などから発せられ、親しみのある響きを持っています。多感な時期を小牧で過ごされた鈴木さんの「音の原風景」とは、一体どんなものなのでしょうか。

「雨が上がったあと、木の枝から滴り落ちる雫の音など、3歳ぐらいから意識的にいろんな音に耳を澄ますようになりました。小牧山の裏手の竹やぶが当時お気に入りの遊び場でね、石を投げ込むとキンコンカンコンと跳ね返る音がとても心地よかったんです」

音のプロジェクト紹介

鈴木さんが今まで行ってきた活動をご紹介します



Courtesy of Beethoven Foundation for Art and Culture Bonn / Photo by Meike Boeschmeyer

点音(おとだて)

足の形と耳を記号化したマークを地面にしつらえ、「そこにしかない音」に耳を澄ますプロジェクト。1996年にベルリンで発表され、以降パリや愛知県一宮市、岐阜県多治見市など多くの場所で遂行されている。



日向ぼっこの空間

子午線上にある京都府京丹後市網野町に日干しレンガ約1万個を使って2つの壁を造り、その間で1988年の秋分の日自然に耳を澄ます、たった1日のみのプロジェクトとして遂行された。壁はすでに取り壊され、自然に還っている。



© Kiki Papadopoulou

ANALAPOS (アナラポス)

鈴木さん考案による音具の代表作。円筒部分を叩いたり、発声したり、スプリングを引っ掻いたりすることで、さまざまなエコーを生み出すことができる。70年代のオリジナルから原型は変わらない。



1963年にバケツいっぱいのガラクタを放り投げた思い出の地、JR名古屋駅・中央線ホームの階段にて

そんな鈴木さんに契機が訪れたのは、1963年の夏。名古屋の建築事務所に勤めていた23歳の頃でした。ある図面の階段をトレースしていると「階段が五線譜に見えてきた」といいます。

「こんな綺麗な階段にガラクタをいっぱい放り投げたら、さぞかしい音とリズムが生まれるに違いない。そう思ったら居ても立ってもいらなくなってしまうました。それである日、ピンポン球やジュースの空き缶をバケツに詰め込んで、当時の国鉄名古屋駅の中央線ホームから階段の下へ向かって、バケツの中身を力いっぱい放り投げたんです。それが僕のサウンドアーティストとしての初舞台であり、初めて駅長さんに詫言状を書いた記念日にもなりました(笑)」

この日の体験で完全に音の面白さに目覚めてしまった鈴木さんは、自然に「師匠」として自分にしか出せない音を追求することを決意。建築事務所を辞めて上京します。最初の創作音具は、2つの空き缶をスプリングで糸電話のようにつないだ『アナラpos』。これは山あいでのこだまの体験をもとに創作され、現在に至るまで、グラスハーモニカとともに鈴木さんのパフォーマンスには不可欠な音具となっています。



©Atsushi Koyama

「嘘のない聴き方をしてもらうため、嘘のない音を出したい」と、様々なコンセプト・パフォーマンスを発表。詩人の谷川俊太郎さんは鈴木さんのパフォーマンスを「限りなく物音に近い音楽」という言葉で表現しました。その後純粋に音を聴くためのプロジェクト『日向ぼつこの空間』や『点音(おとだて)』などを発表。サウンドアーティストとして国内外での評価を揺るぎないものとした鈴木さんですが、本来は「音を出す」よりも純粋に「聴く」方が好きだとか。

「不穏な時代だからこそ、我々は静かに耳を澄ます必要があります。ひとりひとりが「はだかの耳」を取り戻し、自然の音階を聴くことで得られるものがある。僕と裕美さんのパフォーマンスが、そのきっかけになればいいなと思っています」

今回の小牧でのパフォーマンスには、どのような思いがあるのでしょうか。

「自分が何者かになるまでは、小牧には帰るまいと誓っていました。『アホたん』と呼ばれていた僕が何者かになったのかどうかは分かりませんが、こまき市民文化財団の方にお声がけいただいたことが素直に嬉しく、引き受けることにしました。小牧のみなさんに心から楽しんでもらえる時間になりたいと思っています」

鈴木さんからの「音のなげかけ」をどう解釈するかは、すべてあなた次第。サウンドアートの自由な世界を、ぜひこの機会にご体験ください。



11月10日(土) サウンドアートパフォーマンス 「ねんでちょ」

出演／鈴木昭男&宮北裕美
会場／小牧市公民館 ロビー展示場・講堂
時間／18:00 開演 ※終演後にトークあり
料金／無料(整理券不要)

11月11日(日) ワークショップ 「きいとりやあす」・「みとりやあす」

講師／鈴木昭男&宮北裕美
会場／小牧市公民館 4階 大会議室
時間／13:00～16:00 (12:30 受付)
料金／300円 定員／30名(申込先着順)



すずき あきお
鈴木 昭男



みやきた ひろみ
宮北 裕美

1941年生まれ、小牧市出身。サウンドアートの先駆者的存在ながら、77歳となった現在も国内外で精力的に活動する。2018年はボン市立美術館(ドイツ)、熊野古道なかへち美術館(和歌山)などで展覧会やパフォーマンスを行っている。30年ほど前より、京都府京丹後市在住。

兵庫県伊丹市出身。イリノイ大学芸術学部ダンス科卒業。即興パフォーマンスや視覚芸術の可能性を探索するダンサー／アーティスト。愛知県芸術劇場、ザツキン美術館(パリ)など、世界各地で鈴木さんと共同パフォーマンスを行っている。

＼ 観覧者数2年連続全国6位! ※ /

星には“癒し”の効果があるらしい!

小牧中部公民館 プラネタリウム

プラネタリウムに行こう!

そもそも小牧中部公民館プラネタリウムって?
昭和57年オープン。ドーム径12m、80席と規模は小さいものの、既存のプラネタリウムの概念にとらわれない企画を考案し、地元で愛されています。
年間の観覧者数は平均2万6000人。

「星に興味のない人でも気軽にプラネタリウムを楽しんでほしい」という思いのもと、

親子で楽しめる番組や

一風変わったイベントなど、

さまざまなプログラムが

開催されています。

平成27年度・28年度には、100席未満の小規模施設12館のなかで観覧者数が

全国6位にランクイン!

今回は、そんな小牧中部公民館

プラネタリウムで楽しめる

イベントについて紹介します。

※日本プラネタリウム協議会「プラネタリウム基礎調査」100席未満の小規模施設部門(平成27年度・28年度)



小牧中部公民館 プラネタリウム

TEL / 0568-75-1861

小牧市小牧五丁目253番地

休館日 / 月曜日(祝休日を除く)

E N J O Y ! P L A N E T A R I U M !

親子向け

★おやこde楽しむプラネタリウム

小さなお子さまでも楽しめる星空解説&幼児向け番組。天文クイズに正解するとオリジナル缶バッジプレゼント!
開催日時 / 月2回 10時30分
(天文クイズは月のはじめの回のみ)

★宵のプラネタリウム

季節問わずに楽しめる人気のあるキャラクターの番組です。家族連れにおすすめ。
開催日時 / 春休み・冬休み・GWの期間中 17時〜



©Nintendo・Creatures・GAME FREAK・TV Tokyo・ShoPro・JR Kikaku・©Pokémon

★キッズプラネタリウム

お子さまのプラネタリウムデビューに最適! 星にまつわるアニメ番組を放映します。
開催日時 / 隔月 第2・第3金曜日 午前中

★わくわく天文講座

天文関係で活躍する講師を招いた特別講座。たのしく星について学べます。
開催日時 / 不定期

大人向け

★土曜の夜のプラネタリウム

「夜に放映してほしい」というリクエストから生まれたプログラム。夜にゆったりプラネタリウムを楽しみたい方に。
開催日時 / 月1回 土曜日 19時〜

★大人のためのプラネタリウム

その時々タイムリーな星や宇宙の話題を生解説。毎回テーマが変わるので、どの回も一度きりしか聴くことができません。
開催日時 / 年6回 不定期 (高校生以上対象)



野外イベントも!

★星を見る会

天体望遠鏡で星を見るイベント。夏休みには300人ほど参加する人気イベントです。
開催日時 / 年4回 ※その時々で会場が異なります。

★ワークショップも!

★こども天文講座

毎年大人気! 天体望遠鏡や星座早見盤づくりのワークショップ。
開催日時 / 夏休み期間の日曜日

要チェック!

★コンサート / その他イベント

プラネタリウム内でアーティストが生演奏したり、落語を披露したり。他では見られないイベントがもりだくさん!
開催日時 / 不定期



この冬のイチ押し!

2019.2.24(日)

星兄(ほしにい)の上を向いて笑おう!!
四季の爆笑星座解説



場所 / 小牧中部公民館 プラネタリウム

時間 / 13:00~14:30

入場料 / 大人 100円 中学生以下 無料

申込方法 / 2月2日(土)より申込受付開始(電話予約可)
定員(80名)になり次第締め切ります。

各詳細は小牧中部公民館プラネタリウムホームページでチェック!

日本のラテン音楽シーンをリードしてきたパーカッショニストのカルロス菅野が率いるビッグバンド、熱帯JAZZ楽団。誰もが知っているようなジャズの名曲はもちろん、映画音楽やソウル、ポップスなど様々なジャンルの曲をラテンのビートにのせて演奏します。トランペットやサクソフーンなどの日本を代表するミュージシャンたちがつくりだす音楽は、パワフルでありながら、軽やかでリズムカル。その美しいハーモニーは、幅広い年代の観客を魅了し続けています。

「音楽はエンターテインメントだ!」をコンセプトに活動する熱帯JAZZ楽団ならではの、とびきり熱いサウンドをぜひ肌で感じてください。



2018.11.25(日)

「宝くじ文化公演」 好評発売中!
熱帯JAZZ楽団コンサート

場所／小牧市市民会館 大ホール
時間／16:00 開演(15:30 開場)
料金／一般 2,000円
U25(25歳以下) 1,000円



Latin Jazz

一瞬で引き込まれていく
陽気なラテン・ジャズの世界に
実力派ミュージシャンがつくりだす

演奏予定曲

- ・マンボメドレー
- ・アフリカンシンフォニー
- ・君の瞳に恋してる

(ほか)



夏の思い出

「今年の夏はあつかった」

Pick up!

夏休み子ども文化体験教室

今年も、夏休み子ども文化体験教室が開催されました!

市内の小中学生を対象に、全10部門の夏休み子ども文化体験教室が開催されました。この教室は、夏休みに学校を越えた仲間づくりをしながら伝統文化に触れることや、生活の基本を学ぶことを目的として小牧市文化協会が実施しています。

毎年、絵の描き方を学ぶ教室や、箏や尺八を体験する教室などが開催され、子どもたちがさまざまな文化を知るきっかけとなりました。また人とのつながりも生まれ、夏休みの思い出に残る経験となりました。



E V E N T R E P O R T

マシーン・ドゥ・シルク 8月5日(日)
圧倒的な技が光る、本場カナダのシアターサーカスを開催!

5人のパフォーマーの迫真の演技でスタートした公演。ストーリーに合わせ次々に繰り出されるスリリングなアクロバットやパーカッションに、だれもが目を離せない様子でした。中盤になると、パフォーマーが突然客席に降りて観客の一人をステージ上へ。選ばれた人が人間椅子や人間バイクと化したパフォーマーに座ってデートする演出は、会場をひととき盛り上げました。ステージに上がった飯島有美さんは「エスコートが上手でびっくり。近いからこそその熱気を感じることができました」と笑顔で語ってくれました。最後には会場が感動の拍手で包まれ、世代を超えてみんながひとつになれる、圧巻の公演となりました。



こまじん!

小牧在住
サクソ奏者
堀江 裕介さん第一線で活躍し
人を育てる。

堀江さんがサクソスに出会ったのは小学生のとき。地元・仙台の名門吹奏楽部の顧問を務めていた父親の影響もあり、幼い頃から音楽に親しみがあつたそう。

「近所の、6年生の先輩がすくすくサックスを吹いていて、自分もあの楽器を吹いてみたい!」と思ったんです。それがきっかけで、小学4年生のときに学校の吹奏楽部に入部しました」

そのまま中学・高校と吹奏楽部でサクソスを担当。しかし、高校3年生になるまで

自分が音大に進むとは思っていなかった、と堀江さんは語ります。

「進学校だったので、まわりはひたすら勉強。でも自分のやりたいことは違ふなと感じていました。そんなときに、音大出身の先生や先輩と話す機会があり、色々聞いていくうちに『あ、これかも』と思って、音大を目指す決意をしました」

その後、愛知県立芸術大学に入学。大学院を経て、明和高校音楽科の専任講師に着任。以来、15年近く後進への指導を行っています。自らが出演する演奏会に、自分の生徒を連れていくことも

あるそうです。

「僕の中では、教えることと演奏することは表裏一体。僕がプロのオーケストラに交じって演奏している姿を見せたり、その場の空気を生徒に感じてもらうことはすごく大事だと思っています」

今年の5月には中部フィルハーモニーの定期演奏会に出演しました。

「オーケストラがある街ってなかなかないですよ。中部フィルの演奏などをきっかけに、市内の子どもたちがもっと能動的に音楽を楽しめる街になるといいな、と一住民として思います」

これからもご活躍楽しみにしています!

ソロCD
「the BAROQUE Sax」
楽器店やホームページからお求めいただけます。
<http://baroquesax.com>

2018.12.11(火)
愛知県立明和高校音楽科
第67回定期演奏会
場所/日本特殊陶業市民会館
入場無料

文化の
守り人

小牧市謡曲連盟 会長

倉田 信雄さん

「謡曲というのは、簡単に言えば能の台本のこと。能は、舞う人と声を出す人に担当が分かれていきます。演者の脇で歌つとる人が何人か舞台におるでしょう? あの人たちを謡(うたい)と呼ぶんです」

謡曲という、一般的にはあまり聞き慣れない古典芸能について

そう教えてくださるのは、小牧市謡曲連盟会長の倉田信雄さん。謡曲を始めて45年、現在88歳の倉田さんは、長く小牧市文化協会の役員も務められ、小牧の文化振興に貢献されてきました。連盟の発表の場としてよく知られるのが、今年で13回目を迎える「小牧山新能(たぎのう)」。海外からの観光客も年々増え、いまや小牧の文化行事として欠かせないものとなっています。

「謡曲はビブラートをつけず、腹の底から声を出さないといけない。それに、謡本(うたいぼん)と呼ばれる台本に書かれた言葉から場面を各自で解釈する必要がある



から、頭も使う。だからカラオケのように気軽には楽しめないけれど、その分やりがいがありますよ」

現在はジュニア育成文化活動の一環として、夏休みに小学校の子どもたちに謡を教えているという倉田さん。

「有名な『鶴亀』という演目を平仮名で書いて貼り出し、一緒に声を出すのですが、子どもたちの物覚えの早さにはいつも驚かされます。練習の成果を発表する舞台を用意するのが、現在の目標です」

ご挨拶

総務グループは職員6名ですが、事務局長と事務局次長を含めた8名が狭い部屋で体を寄せ合いながら日々仕事をしています。その中でグループを和ませてくれる「Iさん」についてご紹介します。Iさんはボーリングを趣味にしており、仕事と家事をこなしながら週3日の厳しい練習に励んでいます。練習の成果もあり最高スコアは248点で、Pリーグ選手顔負けです。結果が悪くても明るく笑い飛ばす朗らかな方なので、職場はいつも和やかな雰囲気となり、Iさんは総務グループのマスコットの存在です。



総務グループ

11月	11月10日(土) サウンドアート 鈴木昭男&宮北裕美 ～耳をすましてみよう～ サウンドアートパフォーマンス「ねんでちょ」 会場：市公民館 ロビー展示場・講堂 時間／18:00 開演 出演：鈴木昭男(サウンド)&宮北裕美(ダンス) 内容：石の笛や独自の創作楽器による演奏とダンス ※終演後にアーティストトークを実施します。 料金 無料(整理券不要) ⇒特集5～6ページ	
	11月25日(日) ラテンジャズ 宝くじ文化公演 熱帯JAZZ楽団コンサート 会場：市民会館 大ホール 時間／16:00 開演 (15:30 開場) 好評発売中 内容：カルロス管野率いるラテンジャズ・ビッグバンドの最高峰! 料金 一般／2,000円 U25(25歳以下)／1,000円 ※アートフレンド会員割引はございません	
	11月30日(金) クラシック ポルタメント小牧 第6回モーニングコンサート 「癒しのひととき ～穏やかな時間を貴方に～」 会場：まなび創造館 あさひホール(ラビオ5階) 時間／11:00～12:00 (10:30 開場) 企画・運営・出演：ポルタメント小牧 料金 無料(当日先着順 定員306名)	
	12月2日(日) 伝統芸能 第41回小牧民謡まつり 会場：市民会館 大ホール 時間／11:00 開演 (10:30 開場) 料金 無料(当日先着順) 主催：小牧市民謡連盟	
12月	12月2日(日) 演劇 市民舞台芸術祭「ユタと不思議な仲間たち」 出演：小牧市ジュニア演劇クラブ 会場：北里市民センター 講堂 時間／14:00 開演 料金 無料(要整理券)	
	12月9日(日) 演劇 市民舞台芸術祭「そして、だれも… 星新一☆ショートストーリー2本立て」 出演：こまき演劇サークル エチュード 会場：東部市民センター 講堂 時間／1回目 11:00 開演 2回目 15:00 開演 料金 無料(要整理券)	
	12月9日(日)～12月15日(土) 写真 合同撮影会作品展 会場：まなび創造館 センターモール 主催：小牧市写真連盟	
	12月16日(日) クラシック ポルタメント小牧 第125回サンデーコンサート 「だいすき♡まるごとのクリスマス」～町にサンタがやってきた!?～ 会場：北里市民センター 講堂 時間／14:00 開演 (13:30 開場) 企画・運営・出演：ポルタメント小牧 料金 無料(当日先着順 定員360名)	
	12月22日(土) クラシック 小牧特別演奏会 こまき「第九」コンサート 会場：市民会館 大ホール 時間／15:00 開演 (14:15 開場) 好評発売中 指揮：山下一史・独唱：ソプラノ：小川 里美・メゾソプラノ：鳥木 弥生・テノール：笹田 博昭・バス：伊藤 貴之 管弦楽：中部フィルハーモニー交響楽団 合唱：こまき第九特別合唱団 プログラム：ベートーヴェン・交響曲第9番「合唱付き」ほか 料金 プラチナ席／5,300円 S席／4,300円 A席／3,300円 B席／1,800円 学生席(当日指定)／1,000円 ⇒特集3～4ページ	
2019 1月	1月12日(土)・1月13日(日) 伝統文化 第69回書き初め大会 会場：1月12日(土)篠岡小学校 時間／9:30～10:30 受付 1月13日(日)小牧小学校 時間／9:00～10:30 受付 料金 800円 主催：小牧市書道連盟	
	1月20日(日) 演劇 市民舞台芸術祭「MO MO TARO」 出演：ミュージカル劇団スパーク 会場：味岡市民センター 講堂 時間／1回目 11:30 開演 2回目 15:00 開演 料金 無料(要整理券)	
	1月26日(土)・27日(日) その他 こまなびフェスティバル2019 会場：市民会館・市公民館 時間／26日 11:00～16:00 27日 9:30～16:00	
2月	2月9日(土) 伝統音楽 津軽三味線☆三絃士 ～弾～ 会場：味岡市民センター 講堂 時間／15:00 開演 (14:30 開場) 好評発売中 出演：三絃士／馬場淳史・杉山大祐・伊藤圭佑 和太鼓／浅野聡太 内容：若きイケメン津軽三味線ユニット!古典楽曲のみならず ジャンルを超えて幅広く演奏!和太鼓との共演も注目です! 料金 一般／2,000円 U25(25歳以下)／1,000円 アートフレンド会員 一般／1,500円 U25(25歳以下)／800円	

2月	2月10日(日) 伝統芸能 第42回民踊まつり 会場：市民会館 大ホール 時間／10:30 開演 (10:00 開場) 料金 無料(当日先着順) 主催：小牧民踊協会	
	2月10日(日) 伝統芸能 初謡会 会場：勤労センター 時間／10:00 開演 (9:30 開場) 料金 無料(当日先着順) 主催：小牧市謡曲連盟	
	2月16日(土) クラシック 市民企画事業実行委員会 自主文化事業 ワンコインコンサート 『木星音楽団+大前恵子』地球音楽会 会場：市民会館 大ホール 時間／14:00 開演 (13:30 開場) 発売予定日／12月7日(金) 出演：木星音楽団 大前恵子 企画・運営：市民企画事業実行委員会 料金 一般／500円 アートフレンド会員 一般／300円(全席指定)	
	2月17日(日) クラシック ポルタメント小牧 第126回サンデーコンサート 僕は20歳 ～大作曲家たち、その若き日の輝ける作品群～ 会場：味岡市民センター 講堂 時間／14:00 開演 (13:30 開場) 企画・運営・出演：ポルタメント小牧 料金 無料(当日先着順 定員500名)	
	2月23日(土) クラシック 第64回定期演奏会 秋山和慶の「シベリウス、北欧の詩」 会場：市民会館 大ホール 時間／15:00 開演 (14:15 開場) 発売予定日／11月16日(金) 指揮：秋山和慶 ヴァイオリン：南紫音 料金 プラチナ席／5,300円 S席／4,300円 A席／3,300円 B席／1,800円 学生席(当日指定)／1,000円	
	2月 伝統芸能 初舞の会 会場：勤労センター 料金 無料(当日先着順) 主催：小牧市日舞協会	
	3月2日(土) ポップス さだまさしアコースティックコンサート2019 会場：市民会館 大ホール 時間／17:00 開演 (16:30 開場) 発売予定日／1月19日(土) 出演：さだまさし 料金 一般／8,640円 ※アートフレンド会員割引はございません	
	3月9日(土) 伝統芸能 春風亭一之輔 三笑亭夢丸 二人会 会場：東部市民センター 講堂 時間／14:00 開演 (13:30 開場) 発売予定日／12月14日(金) 料金 一般／2,500円 U25(25歳以下)／1,000円 アートフレンド会員 一般／2,000円 U25(25歳以下)／800円 ⇒特集1～2ページ	
3月	3月24日(日) ポップス アラウンド40 メモリーコンサート 会場：市民会館 大ホール 時間／16:00 開演 (15:30 開場) 発売予定日／12月21日(金) 出演：辛島美登里・中西保志・沢田知可子・中西圭三 演奏予定曲：サイレント・イヴ、最後の雨、会いたい、Woman ほか 料金 一般／4,500円 U25(25歳以下)／1,000円 アートフレンド会員 一般／4,000円 U25(25歳以下)／800円	
	3月30日(土) クラシック 小牧特別演奏会 第15回ファミリーコンサート ～アキラさん'Sアカデミー～ 会場：市民会館 大ホール 時間／15:00 開演 発売予定日／12月21日(金) 指揮：ピアノ／司会：宮川彬良 料金 一般／3,000円 学生／1,000円 未就学児／500円	
メナード美術館		
	2018年 10月6日(土)～12月24日(月・祝) 所蔵企画展 追悼 島田章三 -はなかたち ひとかたち-	
	2019年 1月2日(水)～3月31日(日) 所蔵企画展 空の情景 #skyscape_menard	
メナード美術館 情報		
【開館時間】10:00～17:00(最終入館は16:30まで) 【休館日】月曜日(但し12/24、1/14、2/11は開館)、12/25(火)～1/1(火)・1/15・2/12(火) 【入館料】一般 900円 高大生 600円 小中生 300円 【お問い合わせ】メナード美術館 【電話】0568-75-5787		
※内容は変更となることがあります。[詳しい情報は、こまき市民文化財団HPに順次掲載します]		



こまき市民文化財団

チケット購入方法

窓口でのチケットのお求め

下記の5か所に販売窓口がございます。※施設により開館時間、休業日が異なります。

- ・市民会館
[受付時間] 9:00～20:00 ※月曜休館 [住所] 愛知県小牧市小牧2丁目107
- ・東部市民センター
[受付時間] 9:00～17:00 ※月曜休館 [住所] 愛知県小牧市篠岡2丁目23
- ・味噌市民センター
[受付時間] 9:00～17:00 ※月曜休館 [住所] 愛知県小牧市久保新町60
- ・北里市民センター
[受付時間] 9:00～17:00 ※月曜休館 [住所] 愛知県小牧市下小針中島2丁目130
- ・まなび創造館
[受付時間] 9:30～19:30 ※第3火曜休館 [住所] 愛知県小牧市小牧3丁目555

インターネット(平成30年4月より)

- ・財団ホームページから予約・購入 <http://www.komaki-bunka.or.jp>
チケットの引き取りは市民会館窓口、セブン-イレブンから選べます。

電話予約

- ・こまき市民文化財団 TEL:0568-71-9700
[受付時間] 9:00～17:00 ※月曜日定休 [住所] 〒485-0041 小牧市小牧2丁目107

チケットぴあ

- ・チケットぴあ店頭購入
コンビニエンスストア(セブン-イレブン、サークルK・サンクス)、
ぴあのお店で直接ご購入いただけます。(別途発券手数料がかかります)
・お問い合わせ
TEL:0570-02-9111 [受付時間] 10:00～18:00

※お支払い、お受け取り方法などの詳細については、チケットぴあに直接お問い合わせください。
なお、チケットぴあでの購入の場合、アートフレンド会員割引等はご利用いただけません。

アートフレンド小牧会員募集!

会費の種類と手続き

プレミアム
会員

年会費
1,500円

スタンダード
会員

年会費
1,000円

会員特典

- ・コンサートなどの先行予約 ※公演によって対象外になる場合もございます
- ・チケット代金の割引 ※公演によって対象外になる場合もございます
- ・会員交流研修会への参加
- ・会報による情報提供

入会お申込み方法

- ・窓口にて(市民会館・東部・味噌・北里の各市民センター、まなび創造館)
市民会館、各市民センター、まなび創造館の各窓口で、入会申込書と年会費
を添えてお申込みいただくと、その場で会員証を発行いたします。

Webから

こまき市民文化財団ホームページから、ご希望の会員を選択し、必要事項
を入力してご登録ください。お支払方法は、窓口、クレジットカード決済、
セブン-イレブン決済からお選びいただけます。入金確認後、会員証、規約
などをご登録の住所にお届けします。
※年会費無料のメール会員も募集中です。(特典には制限があります)

会員期間

1年間(入会日から1年後の月末までです。)

お問い合わせ

TEL:0568-71-9700

こまき市民文化財団「アートフレンド小牧」事務局

一般財団法人こまき市民文化財団

Facebook
@bunka.komaki

HP: www.komaki-bunka.or.jp

こまき市民文化財団

TEL:0568-71-9700 MAIL: info@komaki-bunka.or.jp

事務局(小牧市市民会館内) 〒485-0041 愛知県小牧市小牧2丁目107

営業時間: 8:30～17:15

休業日: 月曜日、年末年始(12月29日～1月3日)



交通のご案内

- 電車…名鉄小牧線
「小牧駅」下車徒歩約10分
- お車…名神高速道路
小牧ICから国道41号・
国道155号で約2.5km